

拝啓

「災害にあわれた東北の方々に心からお見舞い申し上げます。

はじめまして、私は今27歳の日本語の学生でございます。ホルドー第三大学で勉強しています。学校の範囲内でよく日本人の友達に会いました。ですから東北地震の大きな被害をニュースで見てもびっくりして、お見舞い状を書くことが必要だと存じました。

それから被災の映像を見ると、日本に住んでいる友達に心配をされました。被害は及びませんでした。が、心から被害者のことを心配しています。

フランスから手伝うために何かしたいのですが、この手紙をしか書けません。悲しい出来事が起こりましたが、日本の国民は本当に強い意志があります。ですから東北はどんどん復興していけることと存じます。

みな様引き続きがんばってください。

敬具

平成 23年 3月 29日

ホルドーにて

コレヤ・アトニー

拝啓

災害にあわれた方々へ、

東日本で3月11日に起った大震災や大津波のことを知り、私はとても残念に思いました。その日から毎日ニュースを読んで、日本のことしか考えられませんでした。

私はその時に「少しでもフランスからできることをしよう」と思って、フランス人や日本人の友達と共に日本のための募金活動を行いました。手作り料理や絵葉書売って、160,000円以上集まりました。

あなた方が日本を再建され、前に進まれるように、ここの学生や先生もみんな、愛や希望の言葉を述べて、心から応援しております。

啓具

2011年3月31日

アレクサンドル

DA COSTA
Jennifer
LEA

東北地方の皆様へ、

災害にあわれた東北の方々に、心からお見舞い申し上げます。

私はホルダー大学の日本語学科の学生で、フランスからテレビで日本で起こった地震と津波を拝見いたしました。日本人ではないですが、私はすごく悲しくて、非常に衝撃を受けております。今でも、情報を拝見して、理在の原発の状況のこと心配しております。

3月11日以降、自分に出来る事を探しておりますか、まだ見つけておりません。しかし、この手紙をお書きするのは「頑張れ日本」というメッセージを日本の方へ向けて伝えるためでございます。

この災難に対して、日本の方々がパニックに陥ることなく、誇り、秩序、冷静さと尊厳をお持ちになっていて、感嘆を覚えます。日本を愛している私は、日本に衝撃を与えたこの災害で、傷ついております。しかし、復興できることを願っております。

私は日本と日本国民を信じております。そして、全てのフランス人も被災地の皆様のために祈っております。絶対大丈夫だと信じております。

敬具

平成23年4月3日

ホルダー大学日本語学科二年生

ダコスタ・ジニファー

あわれな... 見舞い申し上げます。
は最善... して、我々は資金を集めており
毎日... ます。そのためにお募金運動をし
ます。
とお望... ますから、私は希望と連帯できるだ
してま
があり... 部とさせていただきます。
のません
に負け... さと苦しい時があっても一番いけませ
んの十人
これから... されていません。

沈む瀬あれ

0411

サンデイ・カマラ敬具

山田様

拝啓

災害にあわれた東北の方々に心からお見舞い申し上げます。

私は日本で津波にごさいたことを遺憾に存じておりました。
ご信じりでありませんでした。

お恐くて、難しい出来事を堪えられました。しかし、日本人は本当に
連気であらうして、冷静もあつたと存じます。

フランス人は遠いのにサポートいたします。それに、毎日山田様に
考えております。

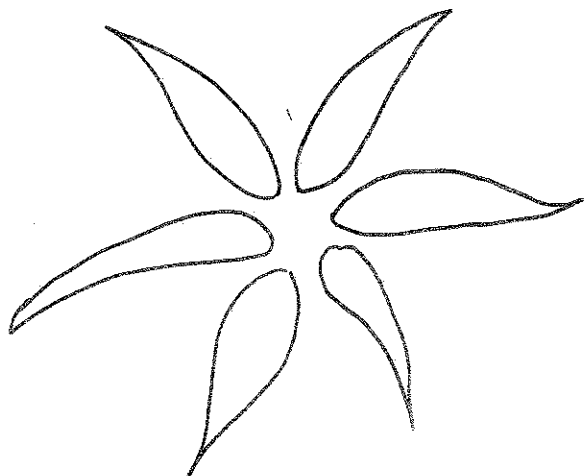
日本語の学生と日本人の留学生は被災者をお支えるための募金
を設立いたしました。お金は日本に最近送り差し上げました。

皆さんは心配しておりますから、日本人を手伝いするために努力しております。

ご希望を保つていたたきます。

敬具

トリシェ・エロティエ



敬語の手紙

GOURAUD

Nicolas

LL

井上部長

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

井上部長、お元気でいらっしゃいますか。
地震は大きくて、ご大変でございました。

私はお元気でございますが、私の息子がご
怪我しました。病院に運ばれました。

ラジオから福島県の新井がご爆発したところ
でございませう。それはご残酷なようでございませう。

今日、地震でお仕事へ参りません。申し訳あり
ません。

ご難場でございませうから、私の息子はお見舞い
をいたします。

どうもありがとうございます。

敬具

グロ・ニコラ

WE ALL PRAY FOR JAPAN

拝啓(木村太郎)様

災害に遭われた東北の方々に心からお見舞い申し上げます。

この度、日本を襲った大災害のニュースをテレビなどで見聞きするたびに、
いてもたってもいられなくなり、お手紙を書かせていただいております。
日本語の勉強をしており、最近日本人の友達ができましたので、日本
がとても好きで、親しみを感じております。ですので、今の日本の状況を才手見、
大変に同情し、また憂っております。今回の災害では、特に津波の
せいで、多くの東北地方にある町が被害を受け、また福島県にある
原子力発電所の動力炉も故障している事、心酉しております。
また、東北地方では電気をなかなか使うことができないので、ご家族と
連絡することができないと存じます。お手伝いに伺いたいですが、遠方のため
なかなか伺えません。日本の方々はとても健気な国民性であると存じております。
その国民性から、日本の復興を信じております。お辛い状況ではあると存じますが、
木村様や、木村様のご家族、ご友人が皆様ご無事でご健康にお
過ごしになられることを原真っております。今は大変なと思いますが、がんばって下さい。

苟文具

2011年3月26日

ラファエル・テカル

拝啓

災害にあわれた東北の方々に心からお見舞い申し上げます。

私は、フランスの第三ボルドー大学の日本学科の学生です。私にとって、日本はとても素晴らしい国と感じているので、以前から大変興味をもっていました。それで3年前から日本語の勉強をしております。

金曜日のことでした。学校に向かう途中で、突然母から電話がありました。その酷い報道についての話でした。最初、まったく信じられませんでした。たった一日の間で、日本のあのきれいな景色は変わってしまいました。ちょうど一ヶ月前に、私は日本に滞在しておりました。その時、友人から岩手県のお土産をいただきました。それは、風鈴でした。

今、日本の皆様は頑張っておられます。皆さんが互いに協力され、家を立て直し、生活を続けていらっしゃいます。必ず、日本は復興するはずです。日本人の心霊は、地震の前も後も変わらないと信じております。あいにく、今の私では実際にお手伝いすることができません。しかしながら、この手紙で、せめても勇気を送りできたらと思う幸いです。風に揺れる風鈴の優しい音のように。

敬具

平成22年3月29日 パトリック・ジュレ

日本の皆様へ

拝啓

ごんにちは。フランスから参りましたカミーユと申します。大学で日本語と英語を勉強しております。心からお見舞い申し上げます。大地震と津波の後で、この手紙を書かせていただきます。

フランスには、皆がとても感動になりました。テレビ中継のニュースでも、辛い映像がございます。沢山の方々の叫びを聞くと胸が苦しくなります。ここでは、日本の民の痛みを全部わかっております。あんな天災があったとは存じておりませんでした。

3週間が経ちました。しかし仙台の人や岩手の人など全員東北地方のみな様が頭の中に一杯苦い思いがございます。皆がたくさん勇気を持っておりますから、最後まで諦めないで下さい。

へ、必死に苦しみの中頑張っている人達がいらしゃると存じております。この気持ちは凄くわかります。みんな全員も頑張ってください。何年かかっても、また絶対笑顔でお目にかかりましょう。まだまだ光と希望がありますから。きっと明るい未来が来ると願っております。全国の皆様に勇気と希望を届けられますように。みんなで笑い合える日が来ると願っております。

日本が平和でありますように。

敬具

2011年03月30日

記者 カミーユ・ジョル

フランス

拝啓

災害にあわれた東北の方々に心からお見舞い申し上げます。

私はフェルナンデズ・ヴァネッサと申します。25歳のフランス人でございます。
ポルドーに住んでおります。日本語を勉強しているので、私は災害に特に感動されました。

尚且つこちらにすべての日本語の学生は怖くて、悲しいと存じて、募金をご準備しました。お金を集めるために、それぞれ料理をいたしました。巻きとケーキを作って、全部売ってしまいました。

再建の助のために、仙台の地方にお金をお送りするところです。お金が早く届いて、情勢がよくなったらいいと存じます。

あまりことができませんが、あなた達を絶え間なにお考えします。

敬具

フェルナンデズ・ヴァネッサ

2011年3月29日

拝啓

遅くなった手紙の事を申し上げます。

私はホルダーの第一大学の学生でございます。
3月10日に日本では地震と津波起こす事を御覧になりました。小布がただ
と思います。

毎日日本の国民と友達に考えております。大丈夫かどか分かりませんので
友達に詳しく事細く聞いております。

日本語の勉強しておる学生と日本人何でも事をなさう欲しいでございました。
そのため大学で募金運動を起こなさいました。日本人の留学生に御料理
を作る事を頼みました。1500ユーロぐらいただきましたので、嬉しかたで
ございます。その御金は仙台と福島に送ります。

NHKのファイルを御覧になると、日本人は御特別の御団結国民だと
存じております。

敬具

東北地方へ
拝啓

突然のお手紙失礼致します。

私はボルドー第三大学の学生です。シャルリーヌと申します。十年前に日本へ参りました。青森県に任んでいたことがございます。そこで、日本の慣習を見つけることができました。この地方は緑が豊かで青争かな所でございました。

三週前にテレビで天災を存じておりました。テレビをつける度にニュースを拝見しました。映像にショックを受けました。自分の無力さを実感しました。あの時に、おかの日本の外観が存じておりました。多くの人たちが、小布いにモカかわらす冷静で落ち着いていらしゃいました。皆様の勇氣に心から敬服いたします。先週、日本語のクラブは学生と募金運動を行いました。この金が少しでも皆さんの助けになれば良いと願っております。

この手紙で皆様への支援とお見舞いの氣持ちとさせていただきます。

敬具

2011年3月31日

フランス

シャルリーヌ・モンテル

ツモン・ライテット

拝啓,

災害にあわれた東北の方々に、心からお見舞い申し上げます。

私の名前はツモン・ライテット (Simon-Lahitete) です。二十歳でございます。フランスのボルドー第三大学の日本語の学生でございます。

3週間前に世界の人々はメディアで日本の災害を知ったことがございました。本当に大変なことだと存じております。それでお手紙を差し上げました。

日本の文化は世界で最も面白い文化だと思っていますから、そのニュースを聞いたあとで、とても悲しくなりました。日本人は新しくて、強いと存じておりますから、大丈夫だと信じております。日本社会は面白くて、とてもいいと思っています。

今の日本の子供達は日本祖国を再建するはずでございます。私は日本について少し心配ですが、大丈夫だと信じております。食べ物とお水にお気をつけてください。

日本人のお手伝いをしたいと思っていますが、何かをさせていただけませんか。日本は今本当に頑張っていると思います、それをお続けください。

日本人様

拝啓

災害にあわれた東北方々にお見舞い申し上げます。私の心からお見舞い申し上げます

東北地方近郊に友達が住んでいらっしゃるから心配なさいました。しかし、大丈夫だと存じます。報道によると、お被害者が悩まなかったようでいらしゃいます。乗降の偉大さに動いず冷静に物事の判断を行ったあなた方を尊敬していらしゃいます。そして、なによりも皆様の立ち直りを心から願っていらしゃいます。お頑張ってください。

敬具

平成二十二年三月二十八日

ホルトー第三大学

学生フェン・ダバン

日本の皆様へ

拝啓

こんにちは、フランスから参りました、
エドゥインと申します。ホルドー大三大学で日本語
と英語を勉強しております。
東北の方々に心からお見舞い申し上げます。
テレビでニュースを見て、間もなくびっくりいたしました。
大地震と津波は必ず辛いことと存じております。
それから、発電所事故があったととても心配に
なりました。
しかし絶望の中で諦めないで下さい。
被災地の方々に無事を祈っております。
日本社会の平穏で染めておりました。
今から、いい未来が必ず来ると願っております。日本人
が沢山強さを持っておりますから、元氣張って下さい。
もちろん簡単ではありませんが、私は、日本人に信じ
ております。

敬具

2011年 3月 31日

エドゥイン・ボレル



日本人の皆様

拝啓

突然に手紙を差し上げるご無礼を許してください。

日本のことが度々係っています。

私はボルドー第三大学の学生です。2年前が今日まで日本語を勉強しています。楽しくて、面白くて、毎日習うのが大好きです。時々、少し難しいですが、おと頑張ります。

その上、今年、たくさんの留学生に会いました。お友達になりました。ですが、日本について、心配しています。

先々週、日本に大きな地震と津波がありました。とてもびっくりしました。

フランスでは、おまわり多くのことをできません。でも、日本のために、日本人の友達と日本語の勉強している友達とアイディアがありました。大学で無料でお食事を用意しました。後に、金で売ってしまいました。そして受け取った全部のお金を日本の被災に送ることで。

今日、日本の状況がよくなることを祈っています。金での日本人とフランスに頑張ってもらいます。私はできることをすべてします。

災害におちた東北の方々に、心からお見舞い申し上げます。

敬具



ボルドー 23年3月27日
学生ブリュノ・ソフィー



拝啓

災害にあわれた東北の方々に心からお見舞
 いを申し上げます。私にはフランスに住んでお
 りて、ボルドーの大学で日本語を勉強して
 おります。ただいまフランスのテレビが日本
 の地震の話題で埋め尽くされている。あの
 大事故を心配しておられてですが、お悲し
 みもともにいたしたいと思います。地震の
 ことがございせんから、放射能の危険は
 前にも眺めします。そして、放射能の危
 険はとて深刻でございます。放射能は
 多すぎてもお気を付けて下さい。津波の
 せいでも日本東北の方々は損害を被
 災しますが、家の復興と新築の
 間に時間がかかります。お待ちは長期の
 間になります。お健気が強いでいら
 して下さい。私は日本人に援助を申し
 出る。その上、水が珍しくなる人ですが、
 国は日本人に水をサポートしてあげると
 願っています。たいまから、万事うまく
 行くよう私はお祈ります。

敬具

ピケル・ムリエル 2011年4月

皆様

拝啟

私は エマニュエルと申します。フランス人の^{学生}でございませう。日本語を勉強しております。

災害にあわれた東北の方々に、心からお見舞い申し上げます。フランスには、この天災は皆様に悲しくなりました。その知らせを伺って動転した。状況の変遷を存じるために、日本からのニュースを見ます。現状が間もなく持ち直せると原真っております。その困難な時其月に、世界中の方が皆様をサポートいたします。それに、皆様のことで存じています。

ひどい地震と津波にあわれたから、皆様お元張って下さい。希望を失わないで下さい。

敬具

2011年3月31日

エマニュエル・グレニ

拝啓

二〇一一年三月十一日、近代史上最大の地震が日本列島をおそいました。

私は日本に一年以上住んでいたのので、その災害のことを聞いた時とてもショックを受けました。そして日本にいる友人のことを心配いたしました。最近では毎日ニュースを見て、日本にいる友人と連絡をとったりしています。日本と関係がない人も日本のことを思い、悲しんでいます。今の状況がよくわかりませんが、日本人のお顔をニュースなどで拝見しますとそのお気持ちなどがよく伝わって参ります。それに私は日本語学科に通っていますから、毎日たくさんの日本人にお会いします。その際は何を言ったらいいかわかりません。皆が心配しているために、一日に五十回ほど「日本は大丈夫ですか？」と尋ねられるには辛いのではないかと思うからです。

結局マゲニチニードルの地震は始まりにすぎず、それに伴う津波の方が大きな被害をもたらしました。その巨大な津波は東北の地を衝きと呑み込んでしまったのですから。二十世紀の技術革新にもかかわらず、お亡くなりになった人は日に日に増加しました。それだけ自然の力は強いのです。震災発生から今日まで、毎日救急隊などが瓦礫の中から遺体の収集作業を行っています。国際化のおかげで世界中の皆は日本の災害と自分たちが無関係ではたいことを感じています。例えば、ボルドー大学の日本語学科の学生は日本のために募金運動をしました。それ以外の生徒は皆そこに募金をしました。

大地震と津波の上に、今度は原発の問題です。広島と長崎の原子爆弾のこともあり、日本人は白人より原子力に恐怖を抱いているのではないかと存じます。にもかかわらず、東北で亡くなった方を悲しみながら、福島原発で働いている英雄達。私達はそんな彼らを称え、支えていくべきであります。

いつかもしフランスで同じ災害があれば、フランス人は立ち直ることができないかもしれませんが、しかし、日本人は違います。日本は今まで色々な災害があっても、いつも頭を上げて、国民全員と一緒に頑張って、国を再建しました。今度も、地球の住民と協力して、もう一回「日本国」という名の下に日本に太陽が昇ることでしょう。

敬具

エルゴット・フロリアン